高知県保健・医療・福祉情報システム

山田晃男* 森口博基+
小南 貢** 浜田加代子++
菊池 豊***

要 旨

高知県では，急速に進行する少子高齢化社会に対応するために，保健・医療・福祉の各サービスの連携を強化し，必要なサービスを“いつでも，どこでも，だれでも”が受けられる環境と体制の整備を進めている。

県は，このために，2000年４月から始まる公的介護保険制度の施行を契機に，情報・通信システムの活用による広域的なネットワークシステムを基盤とした“高知県保健・医療・福祉システム”を整備し，市町村の取組を支援することにしている。

このシステムは，

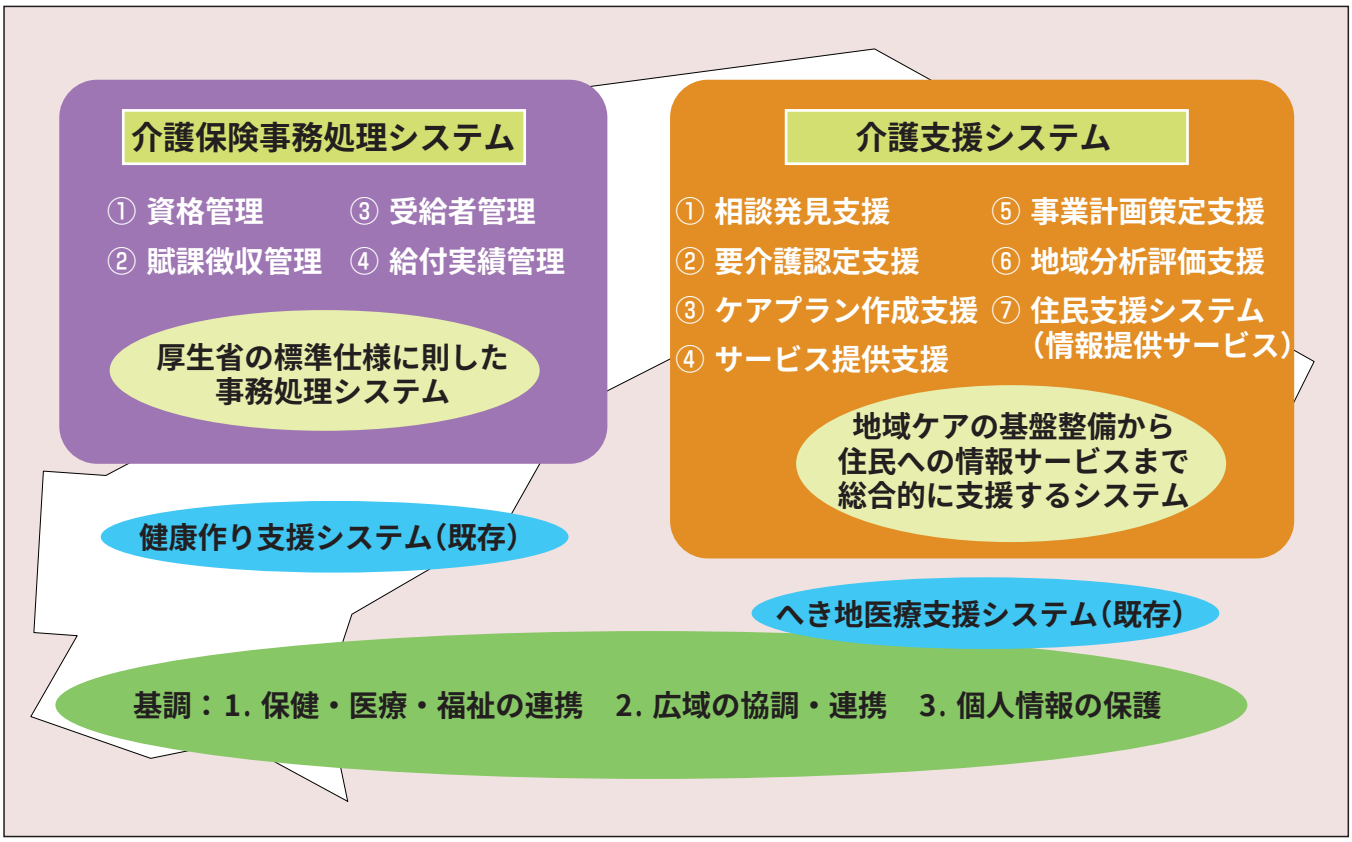
(1) 公的介護保険制度の導入に伴って著しく増加する事務作業量の軽減
(2) サービス機関の基盤整備の促進と広域的かつ総合的な地域ケアの運用支援
(3) 情報化による県民サービスの充実・向上

を目的とし，次の考え方を基本にシステム開発を進めている。

- 保健・医療・福祉の連携
- 広域にまたがる協調・連携
- 個人情報の保護

高知県は，開発したソフトウェアシステムを各市町村に無償提供することにより，各市町村の導入の労力・経費の軽減を図ることにしている。

このシステムが導入され広域的なネットワークが整備された時点では，全国的に類を見ない総合的なシステムになると見込まれている。



高知県保健・医療・福祉情報システムの全体構成

高知県保健・医療・福祉情報システムは，情報・通信ネットワークの活用によって保健・医療・福祉サービスの連携，及び広域にまたがる協調・連携を支援するシステムである。サブシステムとして，本稿で説明する“介護保険事務処理システム”“介護支援システム”，及び既存の“健康作り支援システム”“へき地医療支援システム”がある。

*三菱電機㈱官公CCV事業推進本部 **同情報システム製作所 ***高知工科大学（工博）
+高知県庁（医博） ++高知県大月町役場